



人と環境にやさしい天然素材!

医療や介護施設の現場を創る建築士の方へ

医療や介護施設に携わる顧客は一般的に、外部からの感染や内部感染の予防対策に対して満足していません。この商品は、見栄えやコストだけを追求したような商品とは異なり95%以上の菌死滅の効果を持って価値を提供することを考えています。

創業70年の伝統と

技術に培われた品質を元に
施設内の利用を安心して快適に!

高齢化が進む時代、
自己免疫力が低下した人を守りたい!
との願いから

AHIパネルは生まれました。

●AHIパネルは、こんな効果を発揮します。

- 壁紙にない塗装を施すことにより、院内感染を予防
▶ 抜群な抗菌塗装で菌の繁殖を防ぎます
- 堅牢な表面機能で消毒剤による清掃が簡単に可能
▶ 施設が清潔かつ美しく維持できます
- 天然材を使用し心地よさと風合いを有する事により、多彩な空間を演出
▶ 利用者の方に安らぎと快適を提供できます

■ 抗菌機能を有する天然素材を使用し心地よさと風合いにより、多彩な空間を演出します。

- 天然素材の壁材としてパネル表面が抗菌効果や強靭な表面硬度を有する特徴を持ち、壁紙やポリ加工合板とは異なった見栄えや品質の違う位置付けで病院施設に向け95%の菌死滅効果により院内感染が予防できる天然素材であり施工が簡単な今までにない商品です。



■ ラインナップ ※各色に有孔タイプを設定できます。





人と環境にやさしい天然素材! 医療介護施設の手助けに AHIパネル!

医療や介護施設様向けとして表面硬度が高く、抗菌性能を有するAHI天然素材内装用パネルを開発しました。
このヤマカパネルは、集客施設内での感染防止や清掃業務の簡素化を考えられている病院や介護施設関係の方々にご提案します。

●施設内を清潔かつ美しく維持させるために!

- 壁紙にない塗装を施すことにより、院内感染を予防
- 堅牢な表面機能で消毒剤による清掃が簡単に可能
- 天然材を使用し心地よさと風合いを有することにより、多彩な空間を演出

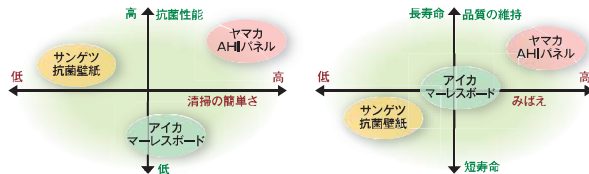
■ AHIパネルの抗菌性/品質保持

抗菌試験

試験依頼先 財団法人日本食品分析センター
試験成績書発行年月日 2011年10月21日
試験方法 JIS Z 2801:2010 「抗菌加工-抗菌性試験方法-抗菌効果」
試験結果(接種24時間後の生菌数)

| 試験菌 | ブランク(無加工品) | 抗菌塗装パネル |
|---------|---------------------|------------|
| 黄色ぶどう球菌 | 1.3×10 ⁶ | < 0.63検出せず |
| 大腸菌 | 1.0×10 ⁶ | < 0.63検出せず |

結果 抗菌塗装パネルの生菌数は、無加工品と比べると黄色ぶどう球菌で130,000分の1、大腸菌で1,000,000分の1以下となりました。



物性試験

試験成績書発行年月日 2011年10月24日
山形県工業技術センター試験成績表より
(試験体: 抗菌塗装パネル)

| 試験項目 | 特殊加工化粧板FWタイプの基準 | 結果 |
|------------|--|--|
| 2種浸せきはく離試験 | 試験片の同一接着層にこけるはく離しない部分の長さがそれぞれの側面において50mm以上であること。 | 接着層のはく離無し。 |
| 寒熱繰返しB試験 | 試験片の表面に割れ、ふくれ、はがれ並びに著しい変色及びつやの変化を生じないこと。 | 表面に割れ、ふくれ、はがれ並びに著しい変色及びつやの変化無し。 |
| 耐水B試験 | 試験片の表面に割れ、ふくれ、はがれ並びに著しい変色及びつやの変化を生じないこと。 | 表面に割れ、ふくれ、はがれ並びに著しい変色及びつやの変化無し。 |
| 汚染B試験 | 試験片の表面に色が残らないこと。 | 色の残り無し。 |
| 摩耗B試験 | 摩耗値が50以上であり、かつ、摩耗量が0.1以下であること。 | 摩耗値: 59 摩耗量: 0.052g |
| 平面引張り試験 | 同一試験台板から採取した試験片の接着力の平均値が0.4 N/mm ² 以上であること。 | 1.4 N/mm ² 1.4 N/mm ² 1.5 N/mm ² 1.5 N/mm ² |

〈規格〉
3mm×3×6 (915×1825mm)
5.5mm×3×6 (915×1825mm)
4mm×3×6 (915×1825mm)
4mm×3×7 (915×2130mm)
4mm×3×8 (1220×2430mm)

※すべて要注生産となります。(最小要注lot/20毎以上)
※ブリーチ(漂白)により色の均一化はかかっておりますが、天然素材の為、可ーロット内でも、色の差が生じる場合があります。

■ 施工面衝撃試験 開始日:平成25年9月4日

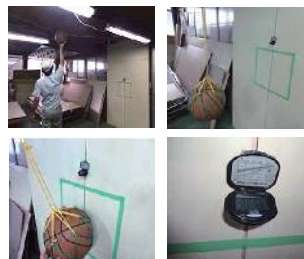
目的 AHIパネルを接着剤とピンネイル(径0.6mm)併用で施工した場合の耐久性を確認する。

施工方法 LGS65×40 間隔303mm(写真1) ▶ 下地合板12mmをビス止め(写真2) ▶ AHIパネル5.5mmクリアー裏面へ ▶ 接着剤塗布(写真3) ▶ ピンネイル(径0.6mm)を200mm間隔にて打ち付け目透しにて施工完了(写真4)



試験方法 施工された樹抗菌パネルに、以下の方法で衝撃を加え、回数毎でのパネル表面や施工に用いたピンネイル等の状態の変化を観察する。

- ① バasketボール7号球(高校及び一般用)をパネルからの距離60cmかつ床からの距離90cmの位置に130cmのひもで天井から吊つる。
- ② ひもを張ったまま、床からの高さ220cmの停止位置までボールを引き上げた後ボールを離す。ボールは、パネルの的のほぼ同じ位置に同じ軌道で衝撃を加えることとなる。なお、回数の測定にはTANITA-PD635(振動歩数計)を用いた。



| 結果 (途中経過) |
|--|
| ◇9/30現在 衝撃回数 3,000回 観察事項: パネル表面及び施工に用いたピンネイル等の形状等に変化なし。 |
| ◇10/8現在 衝撃回数 6,000回 観察事項: パネル表面及び施工に用いたピンネイル等の形状等に変化なし。 |
| ◇10/15現在 衝撃回数 9,000回 観察事項: パネル表面及び施工に用いたピンネイル等の形状等に変化なし。 |
| ◇10/22現在 衝撃回数 12,000回 観察事項: パネル表面及び施工に用いたピンネイル等の形状等に変化なし。 |